



## 2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年2月7日

上場会社名 セントラルスポーツ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4801 URL https://www.central.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 聖治  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 刀禰 精之 TEL 03-5543-1803  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	40,744	1.3	2,926	△7.2	2,617	△8.5	1,747	△8.5
2018年3月期第3四半期	40,214	1.7	3,152	△1.3	2,861	△1.5	1,910	△2.4

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 1,748百万円 (△7.9%) 2018年3月期第3四半期 1,897百万円 (2.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	155.11	—
2018年3月期第3四半期	169.60	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	40,528	22,827	56.3	2,024.78
2018年3月期	42,801	21,981	51.3	1,949.63

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 22,810百万円 2018年3月期 21,964百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	37.00	—	41.00	78.00
2019年3月期	—	39.00	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	—	—	39.00	78.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,700	4.0	4,650	7.1	4,350	9.1	2,940	0.6	260.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	11,466,300株	2018年3月期	11,466,300株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	200,580株	2018年3月期	200,496株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	11,265,775株	2018年3月期3Q	11,265,822株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

業績予想の前提条件及びその他関連する事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費は持ち直しに転じ、雇用・所得環境は改善傾向、企業業績も堅調に推移しました。海外経済は全体的に成長鈍化・景気減速の動きが見え始め、貿易摩擦をはじめとした通商政策等の不安要因もあり、先行き不透明な状況となりました。

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催も近づき、各種スポーツ競技におけるアスリート達の活躍が顕著なこともあり、スポーツへの関心は更に高まりを見せています。また、人生100年時代という言葉も広がりを見せ、将来へ向けたライフスタイルの再考や健康意識の向上、健康への投資も拡大する傾向にあります。

このような環境の中、当社グループは『0歳から一生の健康づくりに貢献する』という経営理念のもと、より多くの皆様に満足していただける質の高いサービスの提供に努め、顧客満足度の向上を目指してまいりました。

店舗の新規出店につきましては、12月に「セントラルスポーツ ジム&ラン 丸の内二重橋店」（東京都千代田区）、「セントラルスポーツ ジムスタ 新浦安店」（千葉県浦安市）、「セントラルスポーツ ジム24h 目白店」（東京都豊島区）の3店舗が運営を開始いたしました。新業態となる「セントラルスポーツ ジム&ラン 丸の内二重橋店」では、主にオフィスワーカーに向けた効率的なトレーニングができる低酸素センターと高酸素ルームという最新の施設を提供するとともに、皇居ランナーの拠点、企業への健康情報の発信基地としての役割も果たしてまいります。以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、直営169店舗、業務受託59店舗の合計228店舗となりました。

店舗運営については、入会者獲得、会員の定着・退会防止に持続的に努めるとともに、業務の効率化を図ってまいりました。既存店では大型リニューアル工事や修繕工事を計画的に実施し、お客様の満足度向上に努めております。

法人向け事業では、会員企業の店舗利用者数が増えるとともに、健康経営やデータヘルスに対応するオフィス向け健康サービス商品が好評で、企業や働く世代向けの健康増進に寄与しております。また、シニア世代に向けてのサービスでは、公共施設や民間事業者からの需要が多く、地域貢献を含めた介護予防分野で健康寿命の延伸に向けた活動に努めております。

10月には人生100年時代をサポートできるよう、元気な百寿者（センテナリアン）を目指す方々を“セントラリアン”と名付け、『セントラリアン応援宣言！』と称して、「スポーツ吹き矢」や「脳が目覚めるアートプログラム」等の新たなプログラムをスタートしました。一人でも多くの元気で幸せなセントラリアンの誕生を目指し、今後取り組みを進めていく予定です。

所属選手の状況については、10月にカタールで開催された世界体操2018にて、初出場の畠田瞳選手が団体6位に入賞、11月の第72回全日本体操団体選手権では、男子団体3位、女子団体6位入賞という成績を収めました。また、フィギュアスケート競技の友野一希選手（同志社大学）と新たにアスリートサポート契約を結び、競技活動の支援を始めました。

CSR活動としては、従業員の健康増進の為に積極的にスポーツの取り組みを行っている企業を応援するスポーツ庁の「平成30年度スポーツエールカンパニー」、スポーツ活動促進やスポーツ分野での社会貢献活動を実施している企業を認定する「平成30年度東京都スポーツ推進企業」に認定されました。当社ではスポーツ同好会活動やスニーカー通勤の推奨、自社スポーツ施設の利用推進等を積極的に行っております。

また、健康経営への取り組みも進めており、健康企業宣言東京推進協議会が認定している健康優良企業認定において、認定取り組み企業の中で9社目となる「金の認定」の早期取得を実現しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は40,744百万円（前年同期比1.3%増）、経常利益は2,617百万円（前年同期比8.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,747百万円（前年同期比8.5%減）となりました。なお、前年同期と比べ減益となった主な要因は、新規出店増とリニューアル工事等の費用によるものです。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,273百万円減少し、40,528百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金が減少したこと等により流動資産が3,163百万円減少し、有形固定資産が増加したこと等により固定資産が889百万円増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ3,120百万円減少し、17,700百万円となりました。その主な要因は、前受金が減少したこと等により流動負債が2,645百万円減少し、長期借入金が増加、固定負債の中のリース債務が増加したこと等により、固定負債が475百万円減少したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ846百万円増加し、22,827百万円となりました。この結果、自己資本比率は、56.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の業績予想につきましては、本資料公開時点において、2018年5月11日の決算短信で発表しました通期連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,721	3,611
受取手形及び売掛金	919	884
商品	255	244
貯蔵品	78	73
その他	1,249	1,246
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	9,221	6,058
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	29,474	30,228
工具、器具及び備品	5,123	5,420
土地	7,488	7,577
リース資産	5,924	6,428
その他	87	158
減価償却累計額	△27,509	△28,353
有形固定資産合計	20,589	21,459
無形固定資産	301	247
投資その他の資産		
敷金及び保証金	10,728	10,710
繰延税金資産	983	933
その他	1,027	1,168
貸倒引当金	△50	△50
投資その他の資産合計	12,688	12,761
固定資産合計	33,580	34,469
資産合計	42,801	40,528

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	195	235
短期借入金	—	500
1年内返済予定の長期借入金	1,539	1,059
賞与引当金	738	395
役員賞与引当金	65	49
前受金	3,717	1,321
その他	4,875	4,927
流動負債合計	11,134	8,489
固定負債		
長期借入金	2,938	2,176
リース債務	4,853	5,093
退職給付に係る負債	100	106
資産除去債務	1,290	1,346
その他	503	487
固定負債合計	9,686	9,211
負債合計	20,820	17,700
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,261	2,261
資本剰余金	2,273	2,273
利益剰余金	17,829	18,675
自己株式	△417	△418
株主資本合計	21,945	22,791
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21	18
為替換算調整勘定	△3	0
その他の包括利益累計額合計	18	18
非支配株主持分	17	17
純資産合計	21,981	22,827
負債純資産合計	42,801	40,528

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	40,214	40,744
売上原価	34,246	34,916
売上総利益	5,967	5,828
販売費及び一般管理費	2,815	2,901
営業利益	3,152	2,926
営業外収益		
補助金収入	33	26
受取保険金	0	74
その他	73	46
営業外収益合計	106	147
営業外費用		
支払利息	387	450
その他	10	5
営業外費用合計	397	456
経常利益	2,861	2,617
特別損失		
店舗閉鎖損失	—	105
減損損失	29	12
特別損失合計	29	118
税金等調整前四半期純利益	2,832	2,499
法人税、住民税及び事業税	745	701
法人税等調整額	176	50
法人税等合計	921	751
四半期純利益	1,910	1,747
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,910	1,747

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	1,910	1,747
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	△2
為替換算調整勘定	△21	3
その他の包括利益合計	△13	0
四半期包括利益	1,897	1,748
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,897	1,748
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。